様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月　19 日

１．職名・氏名　准教授・徳野 淳子

２．学位　学位　博士，専門分野　情報科学，授与機関　北陸先端科学技術大学院大学，授与年　2005 年 3 月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
情報基礎演習（１単位）　１年次　３クラス担当

② 内容・ねらい（自由記述）
パソコンの基本操作と管理，タイピング，文書作成やプレゼンテーション資料の作成，スプレッドシートの活用法，メールマナー，情報倫理とデータ倫理，情報セキュリティ，クラウドサービスの利活用方法などを学習する．大学での学習や卒業後の社会生活に必要な ICT リテラシーとデータリテラシー（データを読み解き，適切に活用する能力）の基礎を習得させることがねらいである．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
本授業は対面を基本としつつ，学生の事前知識や能力によって作業状況に差が出やすい単元はオンデマンド型で実施し，対面や Zoom で質問を受けるようにした．また，個別の事情で対面受講ができない学生や離れたキャンパスで学ぶ学生も受講できるように，対面授業を Zoom でリアルタイム配信するハイフレックス型で実施した．
一部の単元を除き，受講に際し情報演習室のパソコンか，自分のパソコンを使用するかは学生の自由とした．また，昨年度に続き，自分のパソコンに Office がインストールされていない学生には，Google ドキュメントやスライドを用いて同等の課題に取り組めるように工夫した．
この演習は複数教員で担当しているが，クラスによって学習内容に差が生じないよう，担当教員間での調整や，教材更新に係る作業の取り纏めを行っている．
また，新入生の大学入学時の情報に関する知識とスキルのレベルを把握し，今後の情報教育の改善に利用する目的で，IPT(Information Placement Test）を実施した．

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
導入ゼミ（１単位）　１年次

② 内容・ねらい（自由記述）
「インターネット社会」という枠組みの中で，各自が興味のあるテーマを設定して考察する．その過程で，大学での学習に必要な文献調査やレポート作成，効果的なプレゼンテーションの方法を習得させることがねらいである．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
学生同士が対面で議論を行いやすいように，今年度新設したアクティブラーニング室を活用して授業を行った．また，授業教材の配布や，議論の結果の共有，グループによる資料の作成がしやすいように BYOD 形式で授業を行った．
これまで「一般教育の履修に関する Q&A サイト」作成し，公開しているが，今年度もその情報を更新し，履修登録や時間割の作成等，新入生が入学時に抱える問題の解決につながるように支援した．また，昨年度学術教養センター教員と共同で開発した「学生向けの補助教材サイト」を活用し，導入ゼミのクラス間で指導内容に差が出ないように授業を進めた．この他，学生が作成した課題に関しては，直接または GoogleClassroom を介してコメントをフィードバックした．

【ゲストスピーカー １人】※人権特別講義

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
情報科学Ⅰ（1単位）　1年次　2クラス担当

② 内容・ねらい（自由記述）
以下の項目について学習し，情報社会を生きる上で必要な知識と思考を習得させることがねらいである．
(1) 情報社会で起きている変化
(2) 情報倫理，情報を扱ううえでの留意事項，情報セキュリティ
(3) 情報をクリティカルに読み解く能力（メディアリテラシー）
(4) コンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの仕組みと機能
(5) 社会におけるデータ・AI の利活用，留意事項

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
本講義は，本学で進める「全学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」の構成科目であることから，数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムで開発されたリテラシーレベルモデルカリキュラム教材を参考にしている．学生の理解が深まるように，情報社会を取り巻く法や技術を説明する際は，身近な事例や最新の話題を取り上げるようにした．また，第 6 回に企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし「情報倫理・セキュリティ」をテーマに講義を行っていただいた．(講義の様子は，大学のホームページに掲載)
今年度も遠隔キャンパスから受講を希望する学生もおり，対面授業を Zoom で配信するハイフレックス型で実施した．個々の学生の理解度を把握するために，毎回の学習内容に関するお題を出題し，Google フォームを用いて回収した．また，質問や理解不足な点が見られた場合は，次回の授業で解説を行うようにした．LMS には，講義スライドを掲載し，授業外学習を支援した．また，単元ごとに復習テスト（オンラインテスト）を実施し，その都度理解度を確認した．

【ゲストスピーカー：1 人, 2 クラスで実施】

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
情報処理基礎演習（1 単位）1～4 年次　2 クラス担当

② 内容・ねらい（自由記述）
専門教育に応用できるデータリテラシーを習得させることがねらいである．主に，Excel の基本操作，表計算，グラフ表現，関数の利用，基本統計量の計算と理解，データベースの操作，集計処理について学習する．2 クラス担当したうち，1 クラスは生物資源学科の学生を対象としたクラスであり，第 13～16 回の後半は，生物資源学科の先生方に御担当いただいている．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
同授業を担当する教員らで作成した教科書を用いて授業を行っている．同科目は，「情報科学Ⅰ」と同じく，「全学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」の構成科目であることから，モデルカリキュラムやコンソーシアムの教材も取り入れながら進めている．
今年度からは，企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし，データの可視化や読み解きに関して，実践的な演習を行っている（その様子は，大学のホームページに掲載）．ゲストスピーカー講義は自身が担当する 1 クラスの他，非常勤講師が担当する 4 クラスでも行い，全体のコーディネートを担当した．
この演習は，例年学生の事前知識や能力によって作業進捗に差が見られること，また，自分のパソコンを使って学習したいという学生の希望があったことから，事前にオンデマンド教材を作成し，それを基本として，対面または Zoom で質問を受ける形で実施した．
現実の問題処理にあたり，どのスキルを使うかを素早く判断し，一定時間内で問題処理できる能力を養成するために，定期的に課題や試験を実施した．授業の内容や実施方法については，教員間で適宜確認を取るようにした．過去の授業評価アンケートのコメントを受け， LMS を介して，テストの採点結果や減点箇所を学生にフィードバックしている．
【ゲストスピーカー：1 人，非常勤講師担当クラスも含めて計 5 クラスで実施】

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
メディア情報処理概論（2 単位）　1～3 年次

② 内容・ねらい（自由記述）
私たちがコミュニケーションで用いる言語や文字，画像等をコンピュータで表現，処理するためのメディア情報処理技術について学習する．AI（人工知能）技術としても用いられている自然言語処理やパターン認識，機械学習の基礎を理解し，その応用技術やツールなど身近な技術への関心を高めてもらうことがねらいである．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
長年行っている授業であるが，今年度は「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」のモデルカリキュラムを参考に授業内容を変更した．昨年に続き，対面授業を Zoom で配信するハイフレックス型で実施し，BYOD 形式で実施した．学生が終始講義に集中できるように，PC を使った演習や各箇所で学生に問いかけながら授業を進めた．問いに対する学生の回答は，LMS を用いてその場で確認した．また，単元毎に授業内外で課題レポートを出題し，その都度理解度を確認した．

(2)その他の教育活動

① 担当科目名（単位数）　福井大学で非常勤講師を担当
地域コア I 「メディアリテラシー」（2 単位）

② 内容・ねらい （自由記述）
メディアリテラシーの基本的な考えやメディアとしてのインターネットの特性を学習し，情報を主体的に吟味し，批判的に読み解くための能力を身につける．また，大学生に身近な事例や医療現場で起きているソーシャルメディアを取り巻く問題などを取り上げながら，情報の取り扱いとインターネットで情報を発信する際のルールとマナーを身に付ける．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 （自由記述）
広告や CM，ニュース番組や新聞，電子メールやソーシャルメディア，フェイクニュースなど，身近なメディアやそれを取り巻く問題を取り上げながら，学生が興味を持てるよう工夫した．

④ 本学における業務との関連性 （自由記述）
本学で担当している「情報科学 I 」をはじめとする情報教育にも強く関連する科目であり，本講義を行うことで，他の授業の改善にもつながっている．

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　0 本】

②学術論文（査読あり）

【　0 本】

③その他論文（査読なし）

【　0 本】

④学会発表等

1. 徳野　淳子 : 大学新入生を対象とした情報プレースメントテストの経年分析，情報処理学会第 86 回全国大会, 2024 年 3 月発表予定（投稿済み）

【　1 件】

⑤その他の公表実績

1. 喜多 一，山際 基，徳野 淳子 : 大学 ICT 推進協議会（AXIES）シンポジウム「これからの大学の情報教育」2023，ワークショップ分科会 4「ICT 活用とワークライフバランス」, 2023 年 12 月.
2. 徳野　淳子 : 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム　第２回北信越ブロック会議，リテラシー認定校とリテラシープラス選定校による経験談の紹介　事例紹介①，2023 年 2 月 14 日予定.

【 2 件】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

1. 2023～2026 年度，文部科学省科学研究費補助金基盤研究 B（課題番号 23H01007，研究分担者)，「一般情報教育のデジタルトランスフォーメーション（DX)」

(3)特許等取得

(4)学会活動等

情報処理学会「一般情報教育委員会」委員（2017 年 4 月～現在）

５．地域・社会貢献活動

- 福井市ＤＸ推進会議委員（2022 年 10 月 7 日～2027 年 3 月 31 日）

６．大学運営への参画

(1)補職

情報センター副センター長

(2)委員会・チーム活動

- 教育研究委員会委員
- 情報教育・DX 委員会委員
- 時間割・共通科目検討協議会委員

(3)学内行事への参加

- ハラスメント防止研修（2023 年 5 月）
- 令和５年度情報セキュリティ研修（2023 年 9 月）
-

(4)その他，自発的活動など

- 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの設計・推進，自己点検，情報発信，文部科学省認定制度への申請（**2023 年度文部科学省認定プログラム（リテラシーレベル）に認定**）
- 2025 年度以降の情報センター新カリキュラムの設計
- 情報センター非常勤講師担当科目の窓口対応，時間割調整
- 新入生ガイダンスの準備，Wi-Fi 接続指導
- 学生・教職員の ICT サポート，質問対応
- ホームページの管理・情報発信（遠隔授業，Wi-Fi 接続，履修ガイダンス，情報システムに関する FAQ サイト等の更新）
- FPU-LMS 等の情報システムの管理，業者とのやりとり等を担当
- 遠隔授業実施に伴うマニュアルの更新
- 情報演習室の利用者支援，授業利用での時間割調整